

今日はここに注目

進路目標の設定

となりの学校の進路指導

file.4：宮古高校（沖縄・県立）

情報収集と対話を促す「第一志望宣言」で早期の進路目標の明確化を図る

いかに進路意識を 早期から高めるかが課題

宮古島で唯一の普通科高校であり、生徒の多くが進学を希望する宮古高校。進路目標を明確にするため、2年生が学年末に進路目標を発表する「第一志望宣言」（以下、宣言）を実施している。

離島という地理的要因から進学先の情報に接しにくい同校において、以下の進路指導の課題は、生徒の進路意識をいかに早期から高めるかだ。「数年前まで3年夏になって志望校の検討を始める生徒も少なくなかつた」と清家洋先生。3年生に集中していた進路指導の内容を見直し、将来について考える取組の早期化に取り組んできた。宣言についてもその一環で、昨年度から内容を改善して実施している。

面談を充実させ 深い検討や強い決意へ導く

宣言の活動は、事前学習を含めた約2カ月間のプログラムだ（図1）。まず1月に、進路指導部が作成した実施の目的や目標、流れの解説動画を用いたオリエンテーションを各クラスで実施し、学年全体で目線を合わせた状態でスタートする。外部講師による講演会にて、1校だけではなく複数校の情報を比較・検討する意義や方法を学ぶ。そのうえで生徒が各自で情報収集を進め、進路希望を明確にし、宣言書を作成する（図2）。

「しっかり検討することで、『少人数での希望を尊重しています。面談では『な



第一志望宣言前の面談の様子。

もっと
教えて!

進路指導のあれこれ

Q 3年間の進路指導計画
どう改善している？



A

3年間の体系的な進路指導をするもの以外にも、昨年度から1・2学年を対象に新たな取組をいくつか始めました。例えば従来から実施している地域の方2名による職業人講話に加え、適性検査や自分の興味・関心に基づいた職業調べを実施。多様な職業への理解を広げ、学問系統との関連も学ぶ機会としました。

また、年度末に東京大学出前講座を開催。「なぜ勉強するのか？」をテーマにディスカッションを行い、生徒には「学習への意欲がわいた」「社会に出たときの態度も学べた」など好評を得ました。今年度も、より効果的な実施になるよう内容の改善や時期の調整をしています。

このほか、国語科の学校設定科目「文章表現」のなかで将来の目標をプレゼンテーションするという単元を活用して、進路を考える機会とするなど、教科との連動にも取り組んでいます。（清家先生）

Q 年40号以上発行
進路だよりの工夫は？



A

「ADELANTE（前進）」というタイトルのフォーマットを使い、イベントや模試、奨学金などのお知らせが発生する都度、各件の担当者が作成しています。結果として年間40号以上の発行となっています。情報の見逃しがないよう、基本的には一号あたり一種類の内容にしています。（清家先生）

図1 第一志望宣言の概要(2024年度)

■目的
(1)進路探究を通して、将来の目標ややるべきことを自覚する。
(2)進路目標を明確にすることで、最終学年に向けての自覚を持つ。
■目標
(1)複数の希望進路の情報を収集・比較・検討することができる。
(2)第一志望の進学先または就職先について、「志望理由」を説明することができる。
(3)第一志望合格に向けて、「実行すること」を宣言することができる。
■日程
1月22日 第一志望宣言オリエンテーション
1月29日 外部講師(リクルート)講演 ※就職希望者は別ワーク
2月19日 第一志望宣言下書き提出・清書の下書き
2月26日 第一志望宣言清書提出
3月12日 第一志望宣言リハーサル
3月18日 進路学習会の中で第一志望宣言発表(本番)

図2 第一志望宣言書

表		生徒の状況を把握し指導の改善に活かす
		生徒の第一志望を叶えることの前提として、ミスマッチのない進路選択が大切です。早期から進路意識を高め、じっくり検討して自分に合う進路目標を定められるよう、プログラムの改善を図っていきます
		志望先データ。 募集定員、学費、学校の特色などを集約。
		(進学希望者向け) 入試形式別に受験科目や配点、選考方法など。
		(就職希望者向け) 受験科目や必要書類など。

進路指導部の先生方 /



School Data : 1928年設立／普通科・文理探究科／生徒数678人
(男子311人・女子367人)／進路状況(2025年3月卒業生)大学138人・短大6人・専門学校等61人・就職9人・その他20人

メンバーの入れ替わりが激しいなか、話し合いながら指導のブラッシュアップに取り組んでいる。「今後も生徒一人ひとりの自己実現を後押ししていくたい」と清家先生。

A 離島の学校の特徴として教員が3年という早いサイクルで入れ替わるために引き継ぎ資料をしっかりと作成することを重要視しています。いつ何を行なうかだけでなく、何のためにといった目的と、何ができるようになるかという目標も資料に落とし込み、取組が形骸化しないよう対策しています。(清家先生)

Q

維持するには?



 志望について 1. 業界とは何ですか? 就業率などは、就業率の高いものほど就業率が低いものほど業界が適性な学生が就業する傾向があります。 2. 就職の難易度について 就職の難易度は、就職率の高いものほど就職率が低いものほど就職が難い傾向があります。 志望登録について 志望登録は、就職率の高いものほど就職率が低いものほど就職が難い傾向があります。 志望登録について 志望登録は、就職率の高いものほど就職率が低いものほど就職が難い傾向があります。
